



モバイル コンシェルジュの設定

- [モバイル コンシェルジュについて, 1 ページ](#)
- [802.11u Mobility Services Advertisement Protocol の設定, 4 ページ](#)
- [802.11u HotSpot の設定, 5 ページ](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, 12 ページ](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, 13 ページ](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(GUI\) , 14 ページ](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(CLI\) , 15 ページ](#)

モバイル コンシェルジュについて

モバイル コンシェルジュは、外部ネットワークで相互運用できるように 802.1X 対応クライアントを有効にするソリューションです。モバイルコンシェルジュ機能は、クライアントにサービスのアベイラビリティに関する情報を提供し、使用可能なネットワークをアソシエートするのに役立ちます。

ネットワークから提供されるサービスは、次の 2 つのプロトコルに大きく分類できます。

- 802.11u MSAP
- 802.11u HotSpot 2.0

モバイル コンシェルジュの設定 (802.11u)

モバイル コンシェルジュの設定 (802.11u) (GUI)

-
- ステップ 1** [WLAN] を選択して、[WLANs] ページを開きます。
- ステップ 2** 802.11u パラメータを設定する対象の WLAN の青いドロップダウンの矢印の上にカーソルを置いて、[802.11u] を選択します。[802.11u] ページが表示されます。
- ステップ 3** [802.11u Status] チェックボックスをオンにして WLAN の 802.11u を有効にします。
- ステップ 4** [802.11u General Parameters] 領域で、次の手順を実行します。
- [Internet Access] チェックボックスを選択して、この WLAN からインターネット サービスを提供できるようにします。
 - [Network Type] ドロップダウン リストから、この WLAN に設定する 802.11u を表すネットワーク タイプを選択します。
 - [Network Auth Type] ドロップダウン リストから、このネットワークの 802.11u パラメータに設定する認証タイプを選択します。
 - [HESSID] ボックスに、Homogenous Extended Service Set Identifier (HESSID) 値を入力します。HESSID は、HESS を識別する 6 オクテットの MAC アドレスです。
 - IP アドレスが IPv4 形式の場合は、[IPv4 Type] ドロップダウン リストから IPv4 アドレス タイプを選択します。
 - [IPv6 Type] ドロップダウン リストから、IPv6 アドレス タイプを使用できるようにするかどうかを選択します。
- ステップ 5** [OUI List] 領域で、次の手順を実行します。
- [OUI] テキスト ボックスに、組織固有識別子を、3 または 5 バイト (6 または 10 文字) の 16 進数で入力します。たとえば、AABBDF となります。
 - [Is Beacon] チェックボックスをオンにして、OUI ビーコン応答を有効にします。
(注) このフィールドを有効にすると、最大 3 つの OUI を持つことができます。
 - [OUI Index] ドロップダウン リストから、1 から 32 までの値を選択します。デフォルトは 1 です。
 - [Add] をクリックして、この OUI エントリを WLAN に追加します。
このエントリを削除するには、青いドロップダウン矢印画像の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。
- ステップ 6** [Domain List] 領域で、次の手順を実行します。
- [Domain Name] ボックスに、WLAN で動作しているドメイン名を入力します。
 - [Domain Index] ドロップダウン リストで、ドメイン名のインデックスを 1 ~ 32 の値から選択します。デフォルトは 1 です。
 - [Add] をクリックして、このドメイン エントリを WLAN に追加します。

このエントリを削除するには、青いドロップダウン矢印画像の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。

ステップ 7 [Realm List] 領域で、次の手順を実行します。

- a) [Realm] テキストボックスに、WLAN に割り当てるレルム名を入力します。
- b) [Realm Index] ドロップダウンリストで、レルムのインデックスを 1～32 の値から選択します。デフォルトは 1 です。
- c) [Add] をクリックして、ドメイン エントリをこの WLAN に追加します。
このエントリを削除するには、青いドロップダウン矢印画像の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。

ステップ 8 [Cellular Network Information List] 領域で、次の手順を実行します。

- a) [Country Code] テキストボックスに、3 文字のモバイル Country Code を入力します。
- b) [CellularIndex] ドロップダウンリストで、1～32 の値を選択します。デフォルトは 1 です。
- c) [Network Code] テキストボックスに、ネットワークコードを入力します。ネットワークコードは 2 または 3 文字です。
- d) [Add] をクリックして、このセルラーのネットワーク情報を WLAN に追加します。
このエントリを削除するには、青いドロップダウン矢印画像の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。

ステップ 9 [Apply] をクリックします。

モバイル コンシェルジュの設定 (802.11u) (CLI)

- WLAN の 802.11u を有効または無効にするには、次のコマンドを入力します。
config wlan hotspot dot11u {enable | disable} wlan-id
- Third Generation Partnership Project のセルラー ネットワークに関する情報を追加または削除するには、次のコマンドを入力します。
config wlan hotspot dot11u 3gpp-info {add index mobile-country-code network-code wlan-id | delete index wlan-id}
- 802.11u ネットワークで動作しているエンティティのドメイン名を設定するには、次のコマンドを入力します。
config wlan hotspot dot11u domain {{{add | modify} wlan-id domain-index domain-name} | {delete wlan-id domain-index}}
- WLAN の Homogenous Extended Service Set Identifier (HESSID) 値を設定するには、次のコマンドを入力します。
config wlan hotspot dot11u hessid hessid wlan-id
HESSID は、HESS を識別する 6 オクテットの MAC アドレスです。
- WLAN の IPv4 および IPv6 IP アドレスに使用可能な IP アドレスのタイプを設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u ipaddr-type ipv4-type ipv6-type wlan-id

- ネットワーク認証タイプを設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u auth-type network-auth wlan-id

- ローミング コンソーシアムの OI リストを設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u roam-oi {{{add | modify} wlan-id oi-index oi is-beacon} | {delete wlan-id oi-index}}

- 802.11u ネットワーク タイプとインターネット アクセスを設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u network-type wlan-id network-type internet-access

- WLAN のレルムを設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u nai-realm {{{add | modify} realm-name wlan-id realm-index realm-name | {delete realm-name wlan-id realm-index}}

- レルムの認証方式を設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u nai-realm {add | modify} auth-method wlan-id realm-index eap-index auth-index auth-method auth-parameter

- レルムの認証方式を削除するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u nai-realm delete auth-method wlan-id realm-index eap-index auth-index

- レルムの拡張認証プロトコル (EAP) 方式を設定するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u nai-realm {add | modify} eap-method wlan-id realm-index eap-index eap-method

- レルムの EAP 方式を削除するには、次のコマンドを入力します。

config wlan hotspot dot11u nai-realm delete eap-method wlan-id realm-index eap-index

802.11u Mobility Services Advertisement Protocol の設定

802.11u MSAP について

MSAP (Mobility Services Advertisement Protocol) は、ネットワーク接続を確立するためのポリシーセットを使用して設定されたモバイルデバイスで主に使用するために設計されています。これらのサービスは、上位層サービスを提供するデバイス、つまりサービスプロバイダー経由で有効にされるネットワーク サービス向けです。

サービスアドバタイズメントは、MSAPを使用して、Wi-Fiアクセスネットワークへのアソシエーションの前にサービスをモバイル デバイスに提供します。この情報はサービス アドバタイズメントで伝送されます。シングルモードまたはデュアルモードモバイル デバイスは、アソシエーションの前にサービス ネットワークをネットワークにクエリーします。デバイスによるネットワークの検出および選択機能では、ネットワークに join する判断においてサービスアドバタイズメントを使用する場合があります。

802.11u MSAP の設定 (GUI)

-
- ステップ 1 [WLAN] を選択して、[WLANs] ページを開きます。
 - ステップ 2 MSAP パラメータを設定する目的の WLAN の青いドロップダウンの矢印の上にカーソルを置いて、[Service Advertisements] を選択します。 [Service Advertisement] ページが表示されます。
 - ステップ 3 サービス アドバタイズメントを有効にします。
 - ステップ 4 この WLAN のサーバインデックスを入力します。サーバのインデックス フィールドによって、BSSID を使用して到達可能である場所を提供する MSAP サーバインスタンスを一意に識別します。
 - ステップ 5 [Apply] をクリックします。
-

MSAP の設定 (CLI)

- WLAN の MSAP を有効または無効にするには、次のコマンドを入力します。
`config wlan hotspot msap {enable | disable} wlan-id`
- サーバ ID を割り当てるには、次のコマンドを入力します。
`config wlan hotspot msap server-id server-id wlan-id`

802.11u HotSpot の設定

802.11u HotSpot について

この機能は IEEE 802.11 デバイスを外部ネットワークと相互運用できるようにするものであり、サービスが登録制か無料かに関係なく、ホットスポットまたはその他のパブリック ネットワークで一般的に使用されています。

インターワーキング サービスはネットワークの検出や選択を支援し、外部ネットワークから情報を転送できるようにします。アソシエーション前にネットワークに関する情報をステーションに提供します。インターワーキングは、家、企業、およびパブリック アクセスのユーザに役立つだけでなく、製造業者やオペレータが IEEE 802.11 カスタマーに共通のコンポーネントおよびサービスを提供するのにも役立ちます。これらのサービスは、コントローラの各 WLAN 単位で設定されます。

802.11u Hotspot の設定 (GUI)

-
- ステップ 1** [WLAN] を選択して、[WLANs] ページを開きます。
- ステップ 2** HotSpot パラメータを設定する対象の WLAN の青いドロップダウンの矢印の上にカーソルを置いて、[HotSpot] を選択します。[WLAN > HotSpot 2.0] ページが表示されます。
- ステップ 3** [WLAN > HotSpot 2.0] ページで、HotSpot2 を有効にします。
- ステップ 4** WAN リンク パラメータを設定するには、次の手順を実行します。
- [WAN Link Status] ドロップダウン リストから、ステータスを選択します。デフォルトのステータスは [Not Configured] です。
 - [WAN Symmetric Link Status] ドロップダウン リストから、ステータスとして [Different] または [Same] を選択します。
 - WAN のダウンリンクおよびアップリンクの速度を入力します。最大値は 4,294,967,295 kbps です。
- ステップ 5** [Operator Name List] 領域で、次の手順を実行します。
- [Operator Name] テキスト ボックスに、802.11 オペレータの名前を入力します。
 - [Operator index] ドロップダウン リストから、オペレータのインデックス値として 1 ~ 32 の値を選択します。
 - [Language Code] テキスト ボックスに、言語を定義する ISO-14962-1997 エンコード文字列を入力します。この文字列は 3 文字の言語コードです。
 - [Add] をクリックして、オペレータの詳細を追加します。オペレータの詳細が表形式で表示されます。オペレータを削除するには、青のドロップダウン矢印の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。
- ステップ 6** [Port Config List] 領域で、次の手順を実行します。
- [IP Protocol] ドロップダウン リストから、有効にする IP プロトコルを選択します。
 - [Port No] ドロップダウン リストから、WLAN で有効にするポート番号を選択します。
 - [Status] ドロップダウン リストから、ポートのステータスを選択します。
 - [Index] ドロップダウン リストから、ポート設定のインデックス値を選択します。
 - [Add] をクリックして、ポート設定パラメータを追加します。ポート コンフィギュレーション リストからポートを削除するには、青いドロップダウン矢印の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。
- ステップ 7** [Apply] をクリックします。
-

Hotspot 2.0 の設定 (CLI)

- WLAN の HotSpot2 を有効または無効にするには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot hs2 {enable | disable}
```

- WLAN のオペレータ名を設定するには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot hs2 operator-name {add | modify} wlan-id index operator-name lang-code
```

次のオプションを使用できます。

- *wlan-id* : オペレータ名を設定する WLAN の ID。
- *index* : オペレータのオペレータ インデックス。指定できる範囲は 1 ~ 32 です。
- *operator-name* : 802.11 オペレータの名前。
- *lang-code* : 使用する言語。言語を定義する ISO-14962-1997 エンコード文字列。この文字列は 3 文字の言語コードです。言語の最初の 3 文字を英語で入力します (たとえば、英語の場合は *eng*) 。



ヒント キーワードまたは引数を入力した後、Tab キーを押し、コマンドの有効な値のリストを取得します。

- オペレータ名を削除するには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot hs2 operator-name delete wlan-id index
```

- ポート設定パラメータを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot hs2 port-config {add | modify} wlan-id index ip-protocol port-number
```

- ポート設定を削除するには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot hs2 port-config delete wlan-id index
```

- WAN メトリックを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot hs2 wan-metrics wlan-id link-status symet-link downlink-speed uplink-speed
```

値は次のとおりです。

- *link-status* : リンク ステータス。有効な範囲は 1 ~ 3 です。
- *symet-link* : シンメトリック リンク ステータス。たとえば、アップリンクとダウンリンクに異なる速度または同じ速度を設定できます。
- *downlink-speed* : ダウンリンク速度。最大値は 4,194,304 kbps です。
- *uplink-speed* : アップリンク速度。最大値は 4,194,304 kbps です。

- すべてのホットスポットの設定をクリアするには、次のコマンドを入力します。

```
config wlan hotspot clear-all wlan-id
```

- Access Network Query Protocol (ANQP) のフォーウェイ メッセージを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
config advanced hotspot anqp-4way {enable | disable | threshold value}
```

- TU で ANQP のカムバック遅延値を設定するには、次のコマンドを入力します。

```
config advanced hotspot cmbk-delay value
```

- ワイヤレス ネットワークに転送する Gratuitous ARP (GARP) を設定するには、次のコマンドを入力します。

```
config advanced hotspot garp {enable | disable}
```

- 一定期間内に AP によってコントローラに送信される GAS 要求のアクションフレームの数を制限するには、次のコマンドを入力します。

```
config advanced hotspot gas-limit {enable num-of-GAS-required interval | disable}
```

アクセスポイントでの HotSpot2 の設定 (GUI)

HotSpot2 を設定する場合は、ネットワークに属するアクセスポイントを HotSpot2 をサポートするよう設定する必要があります。

ステップ 1 [Wireless] > [All APs] の順にクリックして、[All APs] ページを開きます。

ステップ 2 [AP Name] リンクをクリックして、目的のアクセスポイントの Hotspot パラメータを設定します。[AP Details] ページが表示されます。

ステップ 3 [General] タブで、次のパラメータを設定します。

- [Venue Group] : このアクセスポイントが属する場所のカテゴリ。 次のオプションを使用できます。
 - Unspecified
 - Assembly
 - Business
 - Educational
 - Factory and Industrial
 - Institutional
 - Mercantile
 - Residential
 - Storage
 - Utility and Misc
 - Vehicular
 - Outdoor
- [Venue Type] : 上で選択した場所のカテゴリに応じて、[Venue Type] ドロップダウン リストに場所のタイプのオプションが表示されます。
- [Venue Name] : アクセスポイントに提供できる場所の名前。 この名前は BSS と関連付けられます。これは SSID から場所に関する十分な情報が提供されない場合に使用します。

- [Language] : 使用する言語。言語を定義する ISO-14962-1997 エンコード文字列。これは 3 文字の言語コードです。言語の最初の 3 文字を英語で入力します (たとえば、英語の場合は **eng**)。

ステップ 4 [Apply] をクリックします。

アクセスポイントでの HotSpot2 の設定 (CLI)

- **config ap venue add** *venue-name venue-group venue-type lang-code ap-name* : HotSpot2 をサポートしているアクセスポイントに、場所の詳細を追加します。

値は次のとおりです。

- *venue-name* : このアクセスポイントが設置されている場所の名前。
- *venue-group* : 場所のカテゴリ。次の表を参照してください。
- *venue-type* : 場所のタイプ。選択した *venue-group* に応じて、場所のタイプを選択します。次の表を参照してください。
- *lang-code* : 使用する言語。言語を定義する ISO-14962-1997 エンコード文字列。これは 3 文字の言語コードです。言語の最初の 3 文字を英語で入力します (たとえば、英語の場合は **eng**)。
- *ap-name* : アクセスポイント名。



ヒント キーワードまたは引数を入力した後、Tab キーを押し、コマンドの有効な値のリストを取得します。

- **config ap venue delete** *ap-name* : アクセスポイントから場所に関連する情報を削除します。

表 1: 場所グループのマッピング

場所グループの名前	値	グループの場所のタイプ
未指定	0	

場所グループの名前	値	グループの場所のタイプ
アセンブリ	1	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定のアセンブリ • 1 : アリーナ • 2 : スタジアム • 3 : 乗客ターミナル (たとえば、空港、バス、フェリー、電車の駅) • 4 : 円形劇場 • 5 : アミューズメント パーク • 6 : 礼拝所 • 7 : 会議場 • 8 : 図書館 • 9 : 博物館 • 10 : レストラン • 11 : シアター • 12 : バー • 13 : 喫茶店 • 14 : 動物園または水族館 • 15 : 緊急対応センター
ビジネス	2	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定のビジネス • 1 : 医師または歯科医師のオフィス • 2 : 銀行 • 3 : 消防署 • 4 : 警察署 • 6 : 郵便局 • 7 : 専門家のオフィス • 8 : 研究および開発施設 • 9 : 弁護士のオフィス

場所グループの名前	値	グループの場所のタイプ
教育機関	3	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定の教育機関 • 1 : 小学校 • 2 : 中学校 • 3 : 大学
工場および産業	4	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定の工場および産業 • 1 : 工場
機関	5	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定の公共機関 • 1 : 病院 • 2 : 長期看護施設 (療養所、ホスピスなど) • 3 : アルコールおよび薬物のリハビリテーションセンター • 4 : グループ ホーム • 5 : 刑務所または拘置所
商業	6	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定の商業施設 • 1 : 小売店 • 2 : 食料品店 • 3 : 自動車サービス ステーション • 4 : ショッピング モール • 5 : ガソリン スタンド
住居	7	<ul style="list-style-type: none"> • 0 : 未指定の居住施設 • 1 : 私邸 • 2 : ホテルまたはモーテル • 3 : 寄宿舍 • 4 : 宿泊施設
倉庫	8	未指定の倉庫

場所グループの名前	値	グループの場所のタイプ
公共施設、その他	9	0：未指定の公共施設およびその他
乗り物	10	<ul style="list-style-type: none"> • 0：未指定の乗り物 • 1：自動車またはトラック • 2：飛行機 • 3：バス • 4：フェリー • 5：船またはボート • 6：電車 • 7：モーターバイク
アウトドア	11	<ul style="list-style-type: none"> • 0：未指定のアウトドア • 1：自治体メッシュ ネットワーク • 2：都市公園 • 3：休憩施設 • 4：交通管制施設 • 5：バス停留所 • 6：売店

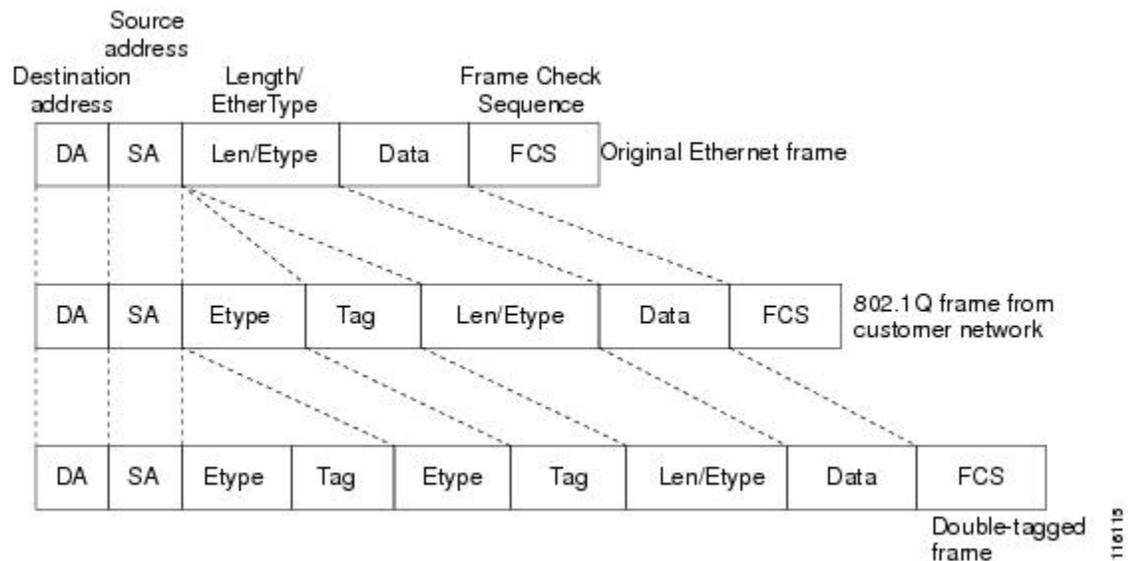
802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報

クライアントごとに一意の VLAN ID 範囲を割り当てると、4096 VLAN という制限を超える可能性があります。802.1Q-in-Q VLAN タグ機能は、別の 802.1Q VLAN タグ内に 802.1Q VLAN タギングをカプセル化します。外部タグは AP グループに基づいて割り当てられ、内部 VLAN ID は AAA サーバによって動的に割り当てられます。

802.1Q-in-Q 機能を使用すれば、単一の VLAN で複数の VLAN をサポートできます。802.1Q-in-Q 機能では、VLAN ID を保存しながら、複数の VLAN のトラフィックを分離できます。下の図は、

タグなし、802.1Q タグ付き、および 802.1Q-in-Q タグ付きのイーサネットフレームを示しています。

図 1: タグなし、802.1Q タグ付き、および 802.1Q-in-Q タグ付きのイーサネットフレーム



関連トピック

- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(GUI\) , \(14 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(CLI\) , \(15 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, \(13 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(GUI\) , \(14 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(CLI\) , \(15 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, \(13 ページ\)](#)

802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項

- 802.1Q-in-Q VLAN タギングは、Cisco 5500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ、Cisco 8500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ、および Cisco WiSM2 でのみサポートされます。
- IGMP スヌーピングを無効にするまで、マルチキャストは有効にできません。
- 802.1Q-in-Q VLAN タギングは、レイヤ 2 およびレイヤ 3 のコントローラ内ローミング、およびレイヤ 2 コントローラ間ローミングでのみサポートされます。レイヤ 3 コントローラ間ローミングはサポートされません。
- 0x8100 は、802.1Q-in-Q イーサネットフレームの [Ether Type] フィールドに対してのみサポートされている値です。

- 中央でスイッチされるパケットでのみ、802.1Q-in-Q VLAN タギングを有効にすることができます。
- 802.1Q-in-Q VLAN タギングについては、IPv6 DHCP パケットではなく、IPv4 DHCP パケットのみ有効にすることができます。
- tunnel-type である IETF 属性は、C-VLAN のオーバーライドに必要です。
- C-VLAN は tunnel-private-group-ID /tunnel-type および tunnel-private-group-id で設定できます。

関連トピック

- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, \(12 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(GUI\) , \(14 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(CLI\) , \(15 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, \(12 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(GUI\) , \(14 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 \(CLI\) , \(15 ページ\)](#)

802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 (GUI)

-
- ステップ 1 [WLANs] > [Advanced] > [AP Groups] の順に選択して、[AP Groups] ページを開きます。
 - ステップ 2 [AP Group Name] をクリックして、対応する [AP Groups > Edit] ページを開きます。
 - ステップ 3 [General] タブをクリックして、802.1Q-in-Q VLAN タギングの詳細を設定します。
 - ステップ 4 [Enable Client Traffic QinQ] チェックボックスをオンにして、AP グループの 802.1Q-in-Q VLAN タギングを有効にします。
 - ステップ 5 [Enable DHCPv4 QinQ] チェックボックスをオンにして、AP グループの IPv4 DHCP パケットの 802.1Q-in-Q VLAN タギングを有効にします。
 - ステップ 6 [QinQ Service VLAN ID] テキスト ボックスに、802.1Q-in-Q VLAN タギングの VLAN ID を入力します。
 - ステップ 7 [Apply] をクリックします。
-

関連トピック

- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, \(12 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, \(13 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, \(12 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, \(13 ページ\)](#)

802.1Q-in-Q VLAN タギングの設定 (CLI)

- ステップ 1** 次のコマンドを入力して、AP グループの 802.1Q-in-Q VLAN タギングを有効または無効にします。
config wlan apgroup qinq tagging client-traffic*apgroup_name*{enable|disable}
デフォルトでは、AP グループのクライアント トラフィックの 802.1Q-in-Q VLAN タギングは無効です。
- ステップ 2** 次のコマンドを入力して、AP グループのサービス VLAN を設定します。
config wlan apgroup qinq service-vlan*apgroup_name* *vlan_id*
- ステップ 3** 次のコマンドを入力して、AP グループのクライアント トラフィックの IPv4 DHCP パケットを有効または無効にします。
config wlan apgroup qinq tagging dhcp-v4*apgroup_name*{enable|disable}
(注) DHCPv4 トラフィックの 802.1Q-in-Q タギングを有効にする前に、クライアント トラフィックの 802.1Q-in-Q タギングを有効にする必要があります。
デフォルトでは、AP グループの DHCPv4 トラフィックの 802.1Q-in-Q VLAN タギングは無効です。
- ステップ 4** 次のコマンドを入力して、AP グループの EAP for Global System for Mobile Communications (GSM) Subscriber Identity Module (EAP-SIM)、または EAP for Authentication and Key Agreement 認証クライアント トラフィックの 802.1Q-in-Q VLAN タギングを有効または無効にします。
config wlan apgroup qinq tagging eap-sim-aka*apgroup_name*{enable|disable}
クライアント トラフィックの 802.1Q-in-Q タギングを有効にすると、EAP for Authentication and Key Agreement (EAP-AKA) および EAP-SIM トラフィックの 802.1Q-in-Q タギングが有効になります。
- ステップ 5** 次のコマンドを入力して、802.1Q-in-Q VLAN タギングが有効かどうかを確認します。
show wlan apgroups
(Cisco Controller) >**show wlan apgroups**
Total Number of AP Groups..... 5

Site Name..... CT_building1
Site Description..... APs for CT Building1
Venue Group Code..... Unspecified
Venue Type Code..... Unspecified

NAS-identifier..... CTB1
Client Traffic QinQ Enable..... TRUE
DHCPv4 QinQ Enable..... TRUE
AP Operating Class..... Not-configured

関連トピック

- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, \(12 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, \(13 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの情報, \(12 ページ\)](#)
- [802.1Q-in-Q VLAN タギングの制約事項, \(13 ページ\)](#)

